

2025年3月期

決算説明会  
プレゼンテーション資料

2025年5月28日

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<https://www.rasaco.co.jp/>

# INDEX

## I. 2025年3月期 決算の概要

1. 決算概要（連結、セグメント別）… P 3
2. 損益計算書（連結、個別） … P 5
3. 部門別の概況 … P 7
4. 貸借対照表（連結、個別） … P 13
5. キャッシュ・フロー（連結） … P 17

## II. 中期経営計画の概要

1. 中期経営計画 … P 19
2. 前中期経営計画の評価 … P 20
3. 新中期経営計画の位置付け  
と重点施策 … P 22
4. 重点施策の概要 … P 23
5. 経営目標と財務方針 … p 26

## III. 2026年3月期 業績見通し

1. 2026年3月期の業績見通し（連結） … P 28
2. 配当 … P 29

# I . 2025年3月期 決算の概要



ラサ商事株式会社

# 1. 2025年3月期 ①決算概要（連結）

## ● 経営環境

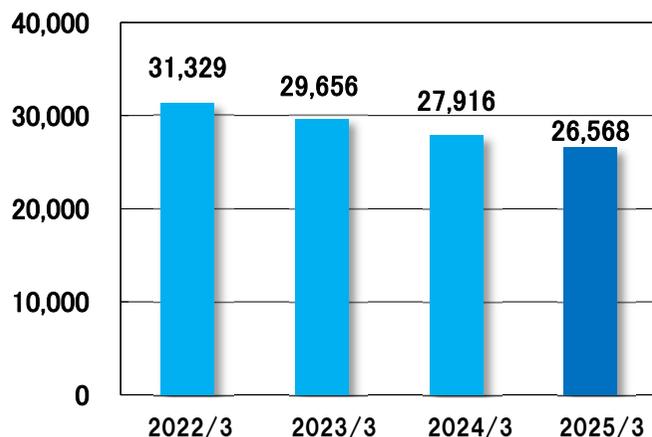
- わが国経済は企業収益や雇用・所得環境が改善する中、個人消費にも持ち直しがみられ、景気は穏やかな回復基調で推移
- しかしながら原材料価格の高騰等に伴う物価上昇による個人消費への影響のほか、米国の通商政策や中国経済の停滞などから景気を下押しするリスクが懸念され、先行きは依然として不透明な状況

## ● 決算概要

- 売上高は、資源・金属素材関連、プラント設備・工事関連が減収となったことを受けて減収
- 利益は、営業利益、経常利益、当期純利益ともに増益

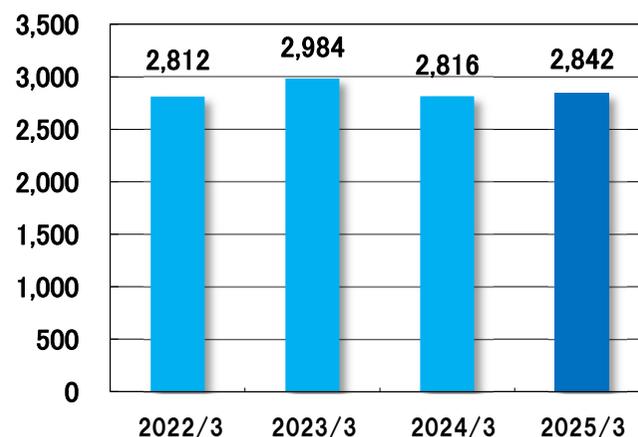
### 売上高 (百万円)

265億6千8百万円  
(前期比 ▲4.8%)



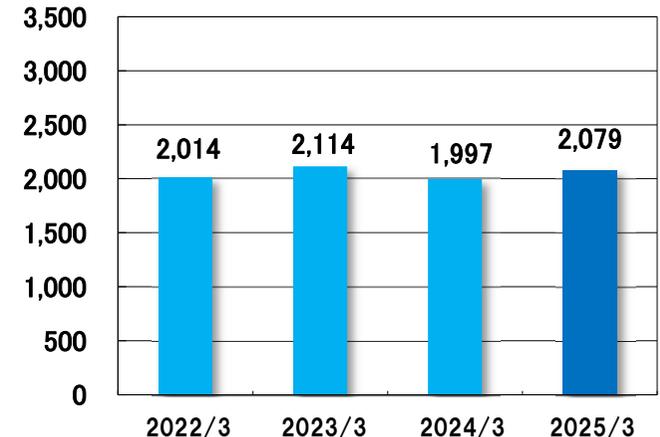
### 経常利益 (百万円)

28億4千2百万円  
(前期比 0.9%)



### 当期純利益 (百万円)

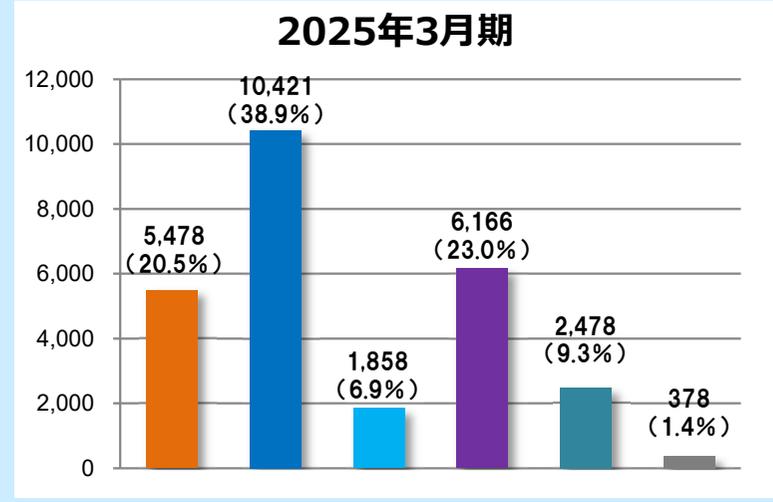
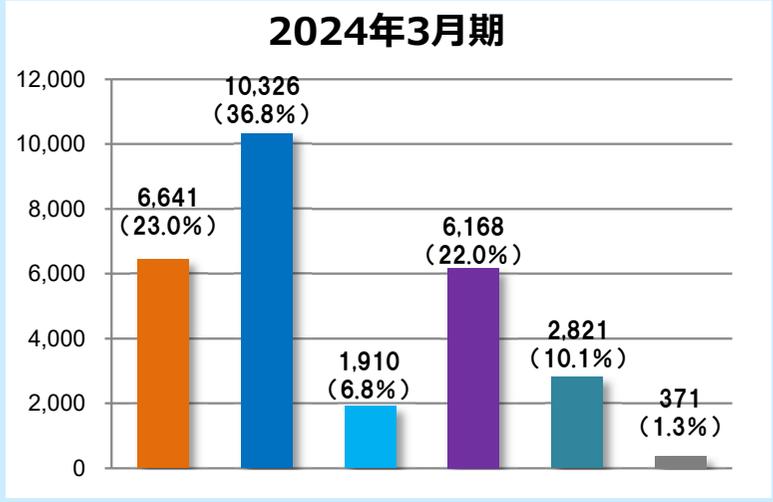
20億7千9百万円  
(前期比 4.1%)



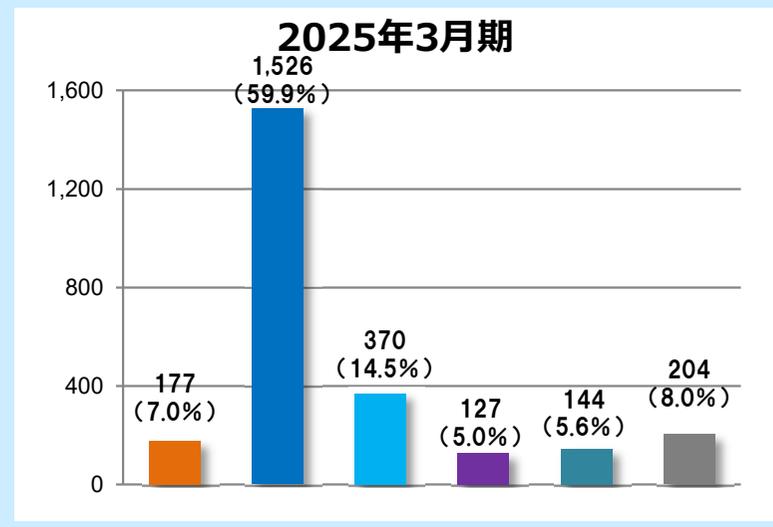
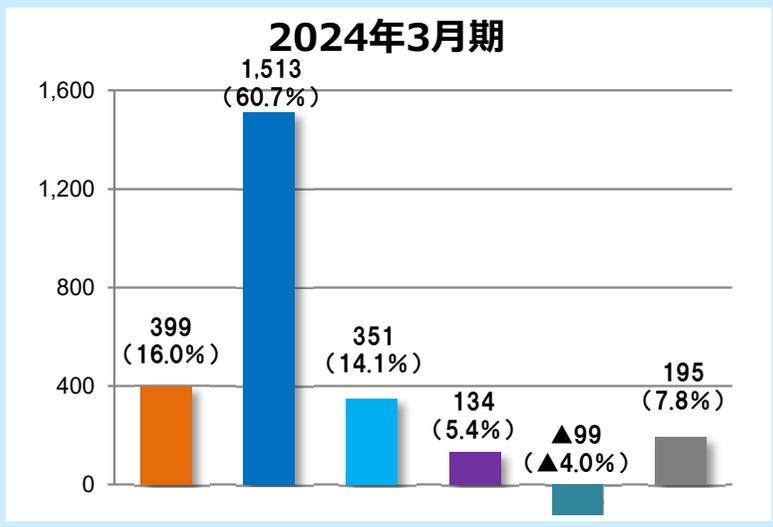
# 1. 2025年3月期 ②決算概要 (セグメント別)

(単位:百万円)

売上高



営業利益



- 資源・金属素材  
関連
- 産機・建機  
関連
- 環境設備  
関連
- 化成品  
関連
- プラント・設備工事  
関連
- 不動産賃貸  
関連

注)  
 ①売上高はセグメント間の内部売上高を含む。  
 ②営業利益の構成比は、全社費用を除く報告セグメント合計を分母として算出。

## 2. 2025年3月期 ①損益計算書（連結）

（単位：百万円・％）

	前期 (2024.3)		当期 (2025.3)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	27,916	100.0	26,568	100.0	▲1,347	▲4.8
資源・金属素材関連	6,441	23.1	5,478	20.6	▲963	▲15.0
産機・建機関連	10,326	37.0	10,421	39.2	94	0.9
環境設備関連	1,910	6.8	1,858	7.0	▲51	▲2.7
化成品関連	6,168	22.1	6,166	23.2	▲2	▲0.0
プラント・設備工事関連	2,821	10.1	2,478	9.3	▲342	▲12.2
不動産賃貸関連	371	1.3	378	1.4	7	1.9
セグメント間調整額	▲123	▲0.4	▲212	▲0.7	▲88	71.8
売上総利益	6,620	23.7	6,853	25.8	232	3.5
販売費及び一般管理費	4,123	14.8	4,321	16.3	198	4.8
営業利益	2,497	8.9	2,532	9.5	34	1.4
営業外収支	318	1.1	309	1.2	▲8	▲2.7
経常利益	2,816	10.1	2,842	10.7	25	0.9
特別利益	33	0.1	48	0.2	14	44.2
特別損失	7	0.0	0	0.0	▲6	▲97.3
税引前当期利益	2,842	10.2	2,890	10.9	47	1.7
当期純利益	1,997	7.2	2,079	7.8	81	4.1
1株当り当期純利益(円)	177.97		189.94		11.97	
1株当り配当金(円)	68		72		4	
配当性向(%)	38.2		37.9		▲0.3	

## 2. 2025年3月期 ②損益計算書（個別）

（単位：百万円・％）

	前期 (2024.3)		当期 (2025.3)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	18,679	100.0	23,924	100.0	5,245	28.1
資源・金属素材関連	6,441	34.5	5,478	22.9	▲963	▲15.0
産機・建機関連	10,326	55.3	10,421	43.6	94	0.9
環境設備関連	1,910	10.2	1,858	7.8	▲51	▲2.7
化成品関連	-	-	6,166	25.7	6,166	-
売上総利益	6,037	32.3	6,368	26.6	330	5.5
販売費及び一般管理費	3,773	20.2	4,166	17.4	393	10.4
営業利益	2,264	12.1	2,202	9.2	▲62	▲2.7
営業外収支	131	0.7	80	0.3	▲50	▲38.6
経常利益	2,395	12.8	2,282	9.5	▲112	▲4.7
特別利益	33	0.2	1,041	4.4	1,007	-
特別損失	4	0.0	0	0.0	▲4	▲96.0
税引前当期利益	2,424	13.0	3,323	13.9	898	37.1
当期純利益	1,723	9.2	2,603	10.9	879	51.1
1株当り当期純利益(円)	152.23		235.77		83.54	

### 3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- 当社取り扱い原料の需要停滞による受注減少のほか、市場価格下落の影響もあり、減収減益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2023.3)	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	前期との差 (%)	前々期 (2023.3)	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	前期との差 (%)
ジルコン・チタン原料	5,160	4,627	3,861	▲766 (▲16.6)	4,901	4,458	3,738	▲720 (▲16.2)
輸入原料	2,796	1,594	1,407	▲187 (▲11.7)	2,695	1,223	1,448	225 (18.4)
その他商品	292	219	210	▲9 (▲4.1)	288	219	207	▲12 (▲5.5)
合計	8,249	6,441	5,478	▲963 (▲15.0)	7,885	5,900	5,393	▲507 (▲8.6)

### 3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 海外向けシールド掘進機の販売において工期遅れの影響を受けたものの、国内で下水汚泥ポンプ及び部品・整備需要が堅調に推移し、増収増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2023.3)	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	前期との差 (%)	前々期 (2023.3)	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	前期との差 (%)
スラリーポンプ 販売、メンテナンス等	6,010	6,713	6,807	94 (1.4)	6,364	6,858	7,193	335 (4.9)
その他産業機械	1,839	2,224	2,589	365 (16.4)	2,462	2,473	1,975	▲498 (▲20.1)
産業機械 計	7,849	8,937	9,396	459 (5.1)	8,826	9,331	9,168	▲163 (▲1.7)
シールド掘進機	1,061	1,228	969	▲259 (▲21.1)	1,240	1,044	1,101	57 (5.5)
その他建設機械	74	135	78	▲57 (▲42.2)	124	91	109	18 (19.8)
建設機械 計	1,135	1,363	1,047	▲316 (▲23.2)	1,364	1,135	1,210	75 (6.6)
合計	8,987	10,326	10,421	94 (0.9)	10,192	10,466	10,378	▲88 (▲0.8)

### 3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 高圧ポンプ本体の販売減及び、水砕関連でCO2削減に向けた環境対策の案件減少により、減収
- 一方、バイオガスプラントにおけるピストンポンプの部品・整備案件の増加により増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2023.3)	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	前期との差 (%)	前々期 (2023.3)	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	前期との差 (%)
水砕スラグ製造設備	443	491	454	▲37 (▲7.5)	483	823	567	▲256 (▲31.1)
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	1,356	1,419	1,404	▲15 (▲1.1)	1,281	1,530	1,821	291 (19.0)
合 計	1,800	1,910	1,858	▲51 (▲2.7)	1,765	2,353	2,388	35 (1.5)

### 3. 部門別の概況 ④化成品関連

- 当社取り扱い原料の一部の添加剤において市況上昇による売上増収がみられたものの、自動車及び電線分野の需要が弱含みで推移した為、減収減益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前々期 (2023.3)	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	前期との差 (%)	前々期 (2023.3)	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	前期との差 (%)
化成品関連	6,912	6,168	6,166	▲2 (▲0.0)	6,826	5,930	6,358	428 (7.2)

### 3. 部門別の概況 ⑤プラント・設備工事関連

- 子会社旭テックが担うセグメント
- 工事内容や人員配置を厳密に精査するなど慎重な受注方針を徹底したことから、前期より工事量が減少し、減収
- 一方、前期にみられた不採算工事のマイナス要因が剥落し、増益

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	増減額	増減率	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	増減額	増減率
プラント・設備工事関連	2,821	2,478	▲342	▲12.2	2,324	2,483	159	6.8

### 3. 部門別の概況 ⑥不動産賃貸関連

- 子会社ラサ・リアルエステートが担うセグメント
- 賃貸ビルの満室維持、賃料見直しと駐車場用地の地代見直しがあり、増収
- また、修繕費、管理費などが減少したことから増益

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	前期比	
			増減	増減率
不動産賃貸関連	371	378	7	1.9

# 4. 貸借対照表（連結） ①資産の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2024.3)		当期末 (2025.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動資産</b>	<b>19,523</b>	<b>59.9</b>	<b>20,219</b>	<b>60.8</b>	<b>695</b>	<b>3.6</b>
現金及び預金	4,647		5,732		1,085	23.3
受取手形、売掛金及び契約資産	8,566		7,224		▲1,341	▲15.7
電子記録債権	2,012		2,562		549	27.3
商品及び製品	3,671		4,545		874	23.8
未成工事支出金	90		49		▲40	▲44.8
その他	536		104		▲431	▲80.5
<b>固定資産</b>	<b>13,044</b>	<b>40.1</b>	<b>13,039</b>	<b>39.2</b>	<b>▲4</b>	<b>-</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>7,623</b>	<b>(23.4)</b>	<b>7,556</b>	<b>(22.7)</b>	<b>▲67</b>	<b>▲0.9</b>
建物及び構築物	1,536		1,426		▲109	▲7.1
土地	6,000		6,000		-	-
その他	87		129		42	48.5
<b>無形固定資産</b>	<b>122</b>	<b>(0.4)</b>	<b>56</b>	<b>(0.2)</b>	<b>▲65</b>	<b>▲53.5</b>
<b>投資その他資産</b>	<b>5,298</b>	<b>(16.3)</b>	<b>5,426</b>	<b>(16.3)</b>	<b>128</b>	<b>2.4</b>
投資有価証券	3,967		4,218		250	6.3
保険積立金	1,071		967		▲103	▲9.7
その他	259		240		▲19	▲7.4
<b>資産合計</b>	<b>32,568</b>	<b>100.0</b>	<b>33,259</b>	<b>100.0</b>	<b>690</b>	<b>2.1</b>

# 4. 貸借対照表 (連結)

## ②負債・純資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2024.3)		当期末 (2025.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動負債</b>	<b>8,244</b>	<b>25.3</b>	<b>8,518</b>	<b>25.6</b>	<b>274</b>	<b>3.3</b>
支払手形及び買掛金	2,565		3,113		547	21.3
電子記録債務	1,939		1,615		▲324	▲16.7
工事未払金	178		212		34	19.5
短期借入金	1,600		1,650		50	3.1
1年内返済予定の長期借入金	521		190		▲330	▲63.4
未払法人税等	408		507		99	24.3
契約負債	268		56		▲211	▲78.9
賞与引当金	332		417		84	25.4
工事損失引当金	8		27		19	234.8
その他	421		727		305	72.6
<b>固定負債</b>	<b>2,872</b>	<b>8.8</b>	<b>2,878</b>	<b>8.7</b>	<b>5</b>	<b>0.2</b>
長期借入金	2,092		2,174		81	3.9
繰延税金負債	368		336		▲32	▲8.9
退職給付に係る負債	17		-		▲17	-
役員株式給付引当金	165		160		▲5	▲3.3
その他	227		207		▲20	▲8.9
<b>負債合計</b>	<b>11,117</b>	<b>34.1</b>	<b>11,397</b>	<b>34.3</b>	<b>279</b>	<b>2.5</b>
<b>株主資本</b>	<b>21,098</b>		<b>21,494</b>		<b>395</b>	<b>1.9</b>
その他の包括利益累計額	352		367		15	4.3
<b>純資産合計</b>	<b>21,450</b>	<b>65.9</b>	<b>21,861</b>	<b>65.7</b>	<b>410</b>	<b>1.9</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>32,568</b>	<b>100.0</b>	<b>33,259</b>	<b>100.0</b>	<b>690</b>	<b>2.1</b>
<b>自己資本比率 (%)</b>	<b>65.9</b>		<b>65.7</b>		<b>▲0.2</b>	

# 4. 貸借対照表（個別）

## ① 資産の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2024.3)		当期末 (2025.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動資産</b>	<b>13,823</b>	<b>64.1</b>	<b>17,386</b>	<b>71.1</b>	<b>3,563</b>	<b>25.8</b>
現金及び預金	3,289		4,165		875	26.6
受取手形	622		729		106	17.2
電子記録債権	1,084		2,489		1,405	129.6
売掛金	4,914		5,328		414	8.4
商品	3,622		4,564		942	26.0
その他	290		109		▲181	▲62.4
<b>固定資産</b>	<b>7,738</b>	<b>35.9</b>	<b>7,069</b>	<b>28.9</b>	<b>▲668</b>	<b>▲8.6</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>633</b>	<b>2.9</b>	<b>666</b>	<b>2.7</b>	<b>33</b>	<b>5.2</b>
建物	94		88		▲5	▲6.2
土地	464		464		-	-
その他	73		112		38	52.6
<b>無形固定資産</b>	<b>80</b>	<b>0.4</b>	<b>26</b>	<b>0.1</b>	<b>▲53</b>	<b>▲66.5</b>
<b>投資その他資産</b>	<b>7,024</b>	<b>32.6</b>	<b>6,375</b>	<b>26.1</b>	<b>▲648</b>	<b>▲9.2</b>
投資有価証券	874		1,041		167	19.2
関係会社株式	4,739		4,044		▲695	▲14.7
保険積立金	1,071		967		▲103	▲9.7
その他	338		321		▲16	▲5.0
<b>資産合計</b>	<b>21,561</b>	<b>100.0</b>	<b>24,455</b>	<b>100.0</b>	<b>2,894</b>	<b>13.4</b>

# 4. 貸借対照表（個別）

## ②負債・純資産の部

（単位：百万円・％）

	前期末 (2024.3)		当期末 (2025.3)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動負債</b>	<b>5,437</b>	<b>25.2</b>	<b>7,337</b>	<b>30.0</b>	<b>1,899</b>	<b>34.9</b>
電子記録債務	1,770		1,615		▲155	▲8.8
買掛金	1,129		3,005		1,875	166.1
短期借入金	1,300		1,350		50	3.8
1年内返済予定の長期借入金	10		-		▲10	-
未払法人税等	351		427		75	21.6
賞与引当金	297		373		76	25.7
その他	578		564		▲13	▲2.4
<b>固定負債</b>	<b>201</b>	<b>0.9</b>	<b>190</b>	<b>0.8</b>	<b>▲10</b>	<b>▲5.4</b>
リース債務	16		10		▲5	▲33.9
役員株式給付引当金	165		160		▲5	▲3.3
その他	20		20		-	0.0
<b>負債合計</b>	<b>5,639</b>	<b>26.2</b>	<b>7,527</b>	<b>30.8</b>	<b>1,888</b>	<b>33.5</b>
<b>純資産合計</b>	<b>15,921</b>	<b>73.8</b>	<b>16,927</b>	<b>69.2</b>	<b>1,006</b>	<b>6.3</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>21,561</b>	<b>100.0</b>	<b>24,455</b>	<b>100.0</b>	<b>2,894</b>	<b>13.4</b>
<b>自己資本比率（％）</b>	<b>73.8</b>		<b>69.2</b>		<b>▲4.6</b>	

# 5. キャッシュ・フロー (連結)

(単位:百万円)

	前期 (2024.3)	当期 (2025.3)	当期の主要項目	
営業キャッシュ・フロー	717	2,844	税金等調整前当期純利益	2,890
			売上債権及び契約資産の増減額(▲は増加)	792
			未収消費税の増減額(▲は増加)	300
			持分法による投資損益(▲は益)	▲254
			法人税等の支払額(▲は支払)	▲684
			棚卸資産の増減額(▲は増加)	▲832
投資キャッシュ・フロー	25	140	保険積立金の払戻による収入	357
			有形固定資産の売却による収入	82
			保険積立金の積立による支出	▲246
財務キャッシュ・フロー	▲1,626	▲1,899	短期借入金の純増減額(▲は減少)	50
			自己株式の処分による収入	26
			配当金の支払額	▲780
			自己株式の取得による支出	▲940
換算差額	0	▲0		
増減	▲883	1,085		
期首残高	5,530	4,647		
期末残高	4,647	5,732		

## Ⅱ. 中期経営計画の概要



ラサ商事株式会社

# 1. 中期経営計画

## “Step Forward” Rasa 2027 ～ 成長のステージへ ～

企業理念の追求と長期ビジョンの実現に向けて  
3つのステップで中期経営計画を推進

**STEP-1**

中期経営計画  
2024

**STEP-2**

中期経営計画  
2027

**STEP-3**

中期経営計画  
2030

2025年4月より、第2ステップの  
新たな3か年がスタートしました

2025年3月までの3年間で、  
第1ステップの取り組みを終えました

**企業理念**

世界に通用する一流技術商品と  
有用な価値ある資源を国内外に  
販売し、豊かな社会に貢献する

**長期ビジョン**

(2031年度の目指す姿)

専門商社の枠組みを超えて、  
**社会のインフラを支える  
付加価値創出企業**へ

## 2. 前中期経営計画の評価 ①業績など

前中期経営計画の3か年は売上・利益ともに漸減傾向となったものの、  
持続的な経営基盤強化の取り組みにより、長期的な高収益化トレンドは継続



- 2021年3月に判明した連結子会社における不適切会計事案への反省から、グループ・ガバナンスの確立を最重要課題と位置づけ、グループ企業の内部統制再構築に取り組んできた  
⇒ **グループ・ガバナンスの確立に向けた制度やシステムの構築を図ることができた**
- 目まぐるしく変化する環境にも柔軟に対応できる組織体制を整備し、持続的な企業価値向上に取り組んできた  
⇒ **グループ全体で適切な事業運営体制や収益基盤の強化が進んだ**

## 2. 前中期経営計画の評価 ②各事業部門の取り組み

具体的な事業展開においては、「既存事業の収益基盤強化と新規事業機会の獲得」を重点施策として掲げ、次のような取り組みと成果が得られました。

事業名称	取り組み概要
資源・金属素材関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ILUKA社との良好な関係維持によりジルコンサンドの安定的な調達を継続しつつ、受注残や受注見込みを勘案し、安定供給が可能な適正在庫管理を実施</li> <li>▶ 新たな資源関連商材の開拓は、継続取り組み中</li> </ul>
産機・建機関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ BCP関連市場開拓の着実な進捗                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的可搬式ポンプユニット「SUPER BETSY」の改良と全国自治体への導入拡大</li> <li>・公益社団法人日本下水道新技術機構との共同研究で技術マニュアルを作成し、「下水処理施設向け耐水型汚泥ポンプ」の販売を開始</li> </ul> </li> <li>▶ 国のクリーンエネルギー戦略に即した製品開発は継続取り組み中</li> <li>▶ 環境負荷を低減した小口径掘進機の開発を果たし、納入実績も獲得</li> </ul>
環境設備関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 非鉄製錬ユーザー等への水砕スラグ製造設備ラサ・システムの販売強化と設備負荷を軽減する高機能水処理用薬品の開発に取り組み、一定の成果を獲得</li> <li>▶ 官庁向け案件では、低含水率汚泥用高圧ポンプを納入し、安定稼働中</li> </ul>
プラント設備・工事関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 1800坪の工場建屋を活かして、建築現場で組み立てる部材をあらかじめ製作することで、大型加工工事の受注強化を推進し、一定数の大型案件受注に成功</li> <li>▶ 官庁における整備案件の受注強化にも取り組み、元請けとしての初受注に成功</li> </ul>
化成品関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 仕入先メーカーとの関係強化を推し進めた結果、メーカーとの直接取引を実現</li> </ul>
不動産賃貸関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ テナントや駐車場の賃料改定等による増収を実現、保有不動産の有効活用も継続</li> </ul>

# 3. 新中期経営計画の位置付けと重点施策

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
--------	--------	--------	--------	--------	--------

**前中期経営計画**  
**“Resilience” Rasa 2024**  
～ 再生から飛躍へ～

グループ・ガバナンス確立を最優先課題に、今後の中長期的な企業価値向上に必要不可欠な経営基盤の強化を推し進める3か年

**新中期経営計画**  
**“Step Forward” Rasa 2027**  
～ 成長のステージへ～

前中期経営計画で強化を図ってきた経営基盤のもと、新たな成長のステージへの一歩を踏み出していく3か年

## 【重点施策】

①

新規・成長分野  
への取り組み

②

既存領域の深耕

③

事業活動を通じた  
サステナビリティ経営  
の推進

## 4. 重点施策の概要 1/3

1

### 新規・成長分野への取り組み

新規分野



成長分野

#### 新しい取引先および 商品の開拓

- ▶ 伸長している海外マーケットの重点エリアにおける販売体制強化（建設機械など）
- ▶ 新規商材の開拓に向けた市場調査および販路開拓（資源・金属素材関連のレアアース、化成品関連の電線部材など）
- ▶ 取引先拡大に向けた新規業種への提案（電子部品、食品関連など）

#### 成長事業<sup>\*</sup>の模索および 主体的なM&Aの検討

<sup>\*</sup> 成長事業 = 当社グループにとって成長が期待される分野の事業や、グループシナジーの発揮が期待される分野

- ▶ 「M&A推進委員会」の立上げ（営業本部・管理本部合同）
- ▶ 主体的なM&A案件発掘への取り組み強化

# 4. 重点施策の概要 2/3

## 2

### 既存領域の深耕

新たな成長ステージを支える安定基盤として、既存事業の安定的成長を図る

事業名称	深耕の概要
資源・金属素材関連	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 高品質なジルコンサンドを安定供給するための在庫水準コントロール強化</li><li>▶ 倉庫および通関関連業務の最適化</li></ul>
産機・建機関連	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 官民連携によるストックマネジメント※推進を通じた各種ポンプ案件の獲得 ※ストックマネジメント：下水道施設の老朽化を予測し、点検・調査、修繕・改築を効率的に実施すること</li><li>▶ グループ会社との共同戦略による製販連携</li><li>▶ 現場でのポンプ診断による提案営業を通じた需要喚起</li><li>▶ クリーンエネルギー（バイオガス発電等）案件への積極的な参画</li></ul>
環境設備関連	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 老朽化ポンプの更新および整備の需要獲得と付属機器や部品の販売</li><li>▶ 低含水率汚泥用の高圧ポンプの拡販</li></ul>
化成品関連	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 地政学リスクに対応した仕入の多様化等による販売力強化</li><li>▶ マーケティングに基づく試作品のサンプル提案による需要の創出</li></ul>
プラント設備・工事関連	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 工事人材の採用強化および研修・現場教育を通じた人材育成の推進</li><li>▶ 協力会社との更なる連携の強化（既存協力会社の育成、新規協力会社の開拓）</li></ul>
不動産賃貸関連	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 保有不動産に関する有効活用や物件入れ替えの検討・実施</li><li>▶ 賃貸ビルの資産価値維持に向けた計画的な大規模修繕の実施</li></ul>

# 4. 重点施策の概要 3 / 3

3

## サステナビリティ経営の推進

### 脱炭素社会と環境保全への貢献

- ▶ CO2排出量の削減  
(2027年度までに2021年度対比で35%以上の削減)
- ▶ 環境負荷低減商品の市場調査および開拓
- ▶ 非常災害時における社会インフラおよび地域社会への貢献

**予 防 策** 耐水化ポンプの活用

**復旧支援** 可搬式の排水ポンプユニット「SUPER BETSY」の提案



### 組織と人材の活性化

- ▶ エンゲージメント調査を活用した組織課題への対応
- ▶ 育児、介護、障がい者雇用など多様性に配慮した働き方の推進

### グループ・ガバナンスの確立

- ▶ 旭テック株式会社におけるシステムの改善（カスタマイズ）と活用の高度化
- ▶ 旭テックおよび化成品部（旧イズミ株式会社）における内部統制機能の浸透

# 5. 経営目標と財務方針

	2024年度 (実績)	2025年度 (計画)	2026年度 (計画)	2027年度 目標	
業績目標	売上高	265億円	280億円	295億円	315億円
	営業利益	25億円	25億円	27億円	29億円
	経常利益	28億円	27億円	29.5億円	31.5億円
	親会社に帰属する 当期純利益	20億円	20億円	21.5億円	23億円
経営指標	ROE	9.6%	—	—	10%以上
	売上高営業利益率	9.5%	—	—	9%以上

## 【経営環境と取り組みの方向性】

米国の政策による国際情勢の複雑化やウクライナ・中東地域をめぐる情勢、中国における景気低迷、外国為替相場の変動リスクの影響といった懸念要素がある中、3つの重点施策を着実に実行し、新たなステージへの一步を踏み出すことで、ニッチな各事業分野での存在感を更に高め、経営目標の達成を目指す

## 財務方針

### 投資方針

財務の健全性に配慮しつつ、**企業価値向上に資するM&A案件については、機動的に対処するとともに、将来を見据えた能力増強や業務効率化に資する投資も継続して行う。**

\* 本中期経営計画には新たなM&Aによる売上や収益への寄与は織り込んでおりません。

特に、M&Aについては、**【重点施策1：新規・成長分野への取り組み】**に対応して、**従来以上に積極的かつ主体的な姿勢でM&Aに臨む**

### 株主還元方針

- 株主様への利益還元については、重要な経営課題との認識のもと、推し進める
- 「**配当性向は引き続き40%前後**」の水準を維持
- **機動的な自己株式の取得も行い、新たな方針に「総還元性向50%以上」を加える**

# Ⅲ. 2026年3月期 業績見通し



ラサ商事株式会社

# 1. 2026年3月期の業績見通し（連結）

米国の通商政策や紛争による国際情勢の不安定化、資源・原材料価格の変動など、経済の先行きは依然として不透明な状況であるが、資源・金属素材関連ではミネラルサンドの需要回復を想定しており、産機・建機関連は堅調に推移する見込み。環境設備関連及びプラント・設備工事関連では業績の回復が見込まれる。化成品関連は国際情勢の不安定化により、需要の不透明感が増す。

（単位：百万円・％）

【連結】	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増 減	増減率
売上高	26,568	28,000	1,432	5.4
売上総利益	6,853			
販売費及び一般管理費	4,321			
営業利益	2,532	2,500	▲32	▲1.3
経常利益	2,842	2,700	▲142	▲5.0
当期純利益	2,079	2,000	▲79	▲3.8
1株当り当期純利益（円）	189.94	187.31	▲2.63	▲1.4

## 2. 株主還元方針について

### 配当実績 (1株当たり)

● **2025年3月期実績** **72円**  
【中間】34.0円 【期末】38.0円

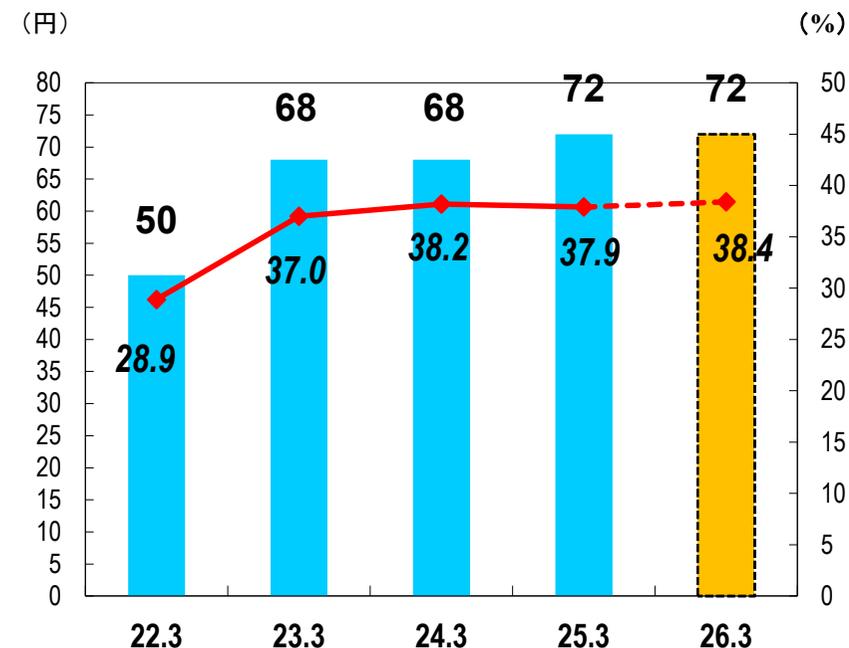
● **2026年3月期予想** **72円**  
【中間】36.0円 【期末】36.0円

### 株主還元方針

配当性向 → **40%前後**

総還元性向 → **50%以上**

### ■ 配当金・配当性向の推移



【2025年3月期実績】 **37.9%**

【2026年3月期予想】 **38.4%**

## ● 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ● I Rに関する問い合わせ先

ラサ商事株式会社 経営企画室

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号 RASA日本橋ビルディング

TEL : 03-3668-8232

URL: <https://www.rasaco.co.jp/> \*「お問い合わせ」をクリックしてください。